

No. 9-2

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 09 - 2

<b>事業分類</b>		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		<b>公的関与</b>		6		<b>作成日</b>		26年 6月 17日		
<b>事務事業名</b>		町社会福祉協議会補助事業						<b>シート作成部署</b>				
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>基本施策</b>	2 人にやさしいまち						<b>課名</b>	地域福祉課	<b>係名</b>	社会福祉係	
		2-2 支えあいを実感できるまちをつくる									<b>シート作成者</b>	
	<b>施策</b>	2-2-1 地域福祉の推進						<b>予算費目</b>	<b>会計</b>	一般		
										款		3
<b>主要施策</b>	② 社会福祉協議会、関係団体等の活動支援						<b>項目</b>			1		
							<b>目</b>			1		
<b>個別計画名</b>												
<b>住民との関わり</b>		特になし										
<b>事業の対象・目的・内容</b>	<b>対象（誰を、何を）</b>				<b>目的（どういう状態にしたいのか）</b>							
	東員町社会福祉協議会				社会福祉法に規定する事業及び町社会福祉協議会が行う事業に助成し、東員町が目指す地域福祉を推進する。							
<b>事業内容（どのような方法で、何を行うのか）</b>		社会福祉協議会は地域福祉を推進する中核的な団体として、適正な法人運営や事業経営等の法人運営部門、住民参加や協働による福祉活動支援等の地域福祉活動推進部門、福祉サービス利用者等の生活支援に向けた相談・支援活動支援等の福祉サービス利用支援部門の事業を実施しており、更なる地域福祉増進のため運営を助成する。										
<b>事業期間</b>		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
<b>根拠法令・要綱等</b>												
		<b>平成24年度（決算）</b>			<b>平成25年度（決算）</b>			<b>平成26年度（予算）</b>				
<b>全体事業費（千円）A+B</b>		28,844			32,300			31,781				
<b>財源内訳</b>	<b>国庫支出金</b>	0			0			0				
	<b>県支出金</b>	0			0			0				
	<b>地方債</b>	0			0			0				
	<b>その他特定財源</b>	0			0			0				
	<b>一般財源</b>	28,580			32,036			31,517				
<b>直接事業費（千円）A</b>		28,580			32,036			31,517				
<b>人件費（千円）B</b>		264			264			264				
<b>内訳</b>	<b>一般職員（人・千円）</b>	0.04 人	264	0.04 人	264	0.04 人	264					
	<b>臨時職員（人・千円）</b>	人	0	人	0	人	0					
<b>成果指標</b>	<b>成果指標名</b>			<b>単位</b>	<b>25年度</b>		<b>26年度</b>	<b>27年度</b>				
					<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>（目標）</b>	<b>（目標）</b>				
	①	施設利用者延べ人数		人	30,000	27,369	30,000	30,000				
	②	社会福祉協議会会員数		人	6,200	6,706	6,200	6,200				
③												
<b>説明</b>												

事業名	町社会福祉協議会補助事業	シート作成課	地域福祉課
-----	--------------	--------	-------

一次評価者	地域福祉課長	二次評価者	生活福祉部長
-------	--------	-------	--------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	必要性	有効性	達成度	効率性	
	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**本事務事業の実施適切性の説明**

社会福祉協議会は、地域の福祉ニーズに則して様々なサービスをパイオニア的に行ってきており、その功績は大きなものであります。しかし、常に時代の変化に敏感であり、その変化に対応することが求められます。「東員町社会福祉協議会あり方検討委員会」からの提言を基に意識改革と事業の見直しを行い、本町の地域福祉向上を図るものです。

一次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	B	A
					D	C
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
今後の改革・改善目標	社会福祉協議会あり方検討委員会の提言を踏まえて、社会福祉協議会が作成したアクションプログラムの進捗について注視するとともに、地域の課題に則した地域福祉活動の充実について協議支援します。					

二次評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
	4	4	3	4	B	A
					D	C
今後の方針	休・廃止		見直し		継続	
コメント	社会福祉事業の充実のため協議し指導します。					

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する	
------------	------	----	------	---	------------	--